

年賀はがき販売開始のニュースを見ました。もうそんな時期かと驚かされます。  
シグリーフケア Side by Side 「さばさ」 ㄱ のメールマガジン第 34 号をお届けします。

目次-----

- 1) スタッフのつぶやき
- 2) グリーフ体験談
- 3) イベントのご案内
- 4) メールマガについて
- 5) 風と虹の診療所設立準備委員会について

---

1) スタッフのつぶやき

---

朝晩は冷え込むようになりました。梗塞と呼吸器疾患の増悪の季節ですね。

COVID-19 も増加傾向でしょうか？

見通しの立たない状況にどんより感がぬぐえませんが、情報を吟味し、適切に恐れ、適切に動くことが大事ですね。

---

2) グリーフ体験談

---

「ホスピス見聞記～K病院の主治医 T 先生へ」(2)

\*T 先生は彼女の気胸を施術した病院の担当医

-----  
2002 年 4 月 12 日

R 病院での症状コントロールも落ち着いたので、13日に一度退院します。後は、自宅でモルヒネの粉を水かジュースで溶いたものを日に4回。その他、下剤と吐き気止めを日に1回服用。2週間に1回外来診療を受ける予定です。

ホスピスの施設概要を紹介します。

六甲病院の新館5階が緩和ケア病棟になっています。

ここだけが、一般病棟とは違って、花に囲まれ、床もカーペット敷き、クラシックが流れる異空間です。

各病室は、お花の名前になっており、患者名はでていません。プライバシーを保ち、会いたくない見舞客が急襲するのを防ぐためです。

全20室はすべて個室です。

基本的設備としては、冷蔵庫、電話、有線放送、テレビ、クローゼットなどがあり、基本の部屋は差額室料無料です。これにシャワーがついて日額1万円。それにソファベッドがプラスされて1万5000円です。

外出、外泊大いに歓迎。

ルーティンの診療・検査は極端に少ないので、本当にホテルに泊まっているような気分です。

私の場合のルーティンは、お薬を飲むことと、日に1回ぐらい血中酸素を計ること、主治医のA先生と話すことぐらいでしょうか。

様々なボランティアさんが出入りしており、なかには『園芸ボランティア』という、お花大好きおばさん達がいらして、私の部屋に届いた花々に目を輝かせています。萎れていく花を引っっこ抜くのが楽しみらしいのです。

ボランティアさんと言えば、毎日、3時にお部屋に手作りおやつを紅茶なんかと一緒に届けて下さるんですよ。そのとき、たまたまお客さんでいらして、お相伴にあずかるラッキーな方もいらっしゃいます。

週に1回、アロマセラピーのマッサージや音楽会がやはりボランティアで行われます。

美容院の方が、予約すれば出張してくださって、シャンプーカットやヘアーマニキュアなど可能です。

このホスピスにはボランティアでいろんな演奏家の方がおみえになっているのですが、なかでもみんなの自慢は、ベルリンフィルのメンバーが、ここのリビング（パーティールームも兼ねる）で演奏会をしてくれたことなのです。まったくノーギャラで。

病棟のイベントも季節ごとに行われ、先日の『お花見会』の日には、病棟のお医者さんから看護婦さん、ボランティアさん総出で桜満開の中庭へ繰り出し、3時のおやつを拡大バージョンを繰り広げました。全く寝たきりの患者さんでも、本人が行きたいと言えば、お部屋のベッドごと運んじゃいます。どこまでも“やりたいことをやる”の精神です。

本当に病院か？と思うのは、肺がん患者が喫煙室でおいしそうに一服しているのを見るときですね。部屋の外には、酸素ボンベ付の車椅子を待機させながら。もうすぐ死ぬ人に禁煙うんぬんを説いてストレスを増さない方針だそうです。但し、その患者さんは痰などが多くて困ることにもなるのですが、それは自業自得。

家族風呂は朝6時から夜12時までいつでも入浴可能。1回1回入浴ごとにお湯を落とす方式です。予約を自分達で表に書き込んでおけばよく、私も週末などは、夫婦2人で、好きな入浴剤をいれて朝風呂を楽しんでいます。

24時間面会自由だったり、看護婦さんが夜中の巡廻に定期的に回ってもいいですかと尋ねてくれるんですよ。

家族用のキッチンが充実しているので、みんな毎食そこで調理しています。各種出前も病室まで届けてもらえます。

T先生、人生の終わり方のひとつの参考になるかとも思ってお送りします。

上山 きみ子

-----

---

3) イベントのご案内 (予告なく変更することがあります)

---

#### ■講演会&ワークショップ

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/news-event/>

(新型コロナウイルスの影響に定員を減らしています。また、zoomへ切り替えさせていただくことがあります。また、当日の接触を減らすため、当日決済、メルマガ割引は行いません。peatixか振り込みによる事前決済にご協力ください。最新情報はHPでご確認ください)

・2021年5月8日(土) 「親の死を経験した時の心身のプロセス～心の専門家が自分を振り返る～」

【さばさ】

演者：江夏亮さん

臨床心理士、公認心理師、日本ゲシュタルト療法学会スーパーバイザー、江夏心の健康相談室主宰  
(<https://enatsu-kokoro.com/>)

日時：2021年5月8日(土) 14:00～16:30 定員20名

場所：新大阪丸ビル別館 <https://marubiru-bekkan.com/>

参加費：事前決済 3,500円(当日会場にて決済 4,000円) ※小学生以下は会場の規定により入場できません。

・2021年5月9日(日) 江夏亮さんによる個人面談

日時：2021年5月9日（日） 10:00～12:00 13:00～16:00

対象：グリーンケアが必要だと感じていらっしゃる方はもちろん、なんとなく心がもやもやする方、江夏さんの個人ワークを体験してみたい方、江夏さんから学びたい方もお申し込みいただけます。が、講演会参加者が優先となりますことをご了承ください。複数人での面談はご相談ください。

費用：8日の講演会参加者は ¥6,000/50分 その他 ¥10,000/50分 ※当日お支払いください。

場所：新大阪丸ビル別館 <https://marubiru-bekkan.com/>

お申し込み：5月8日（土）19:00 までに、HPのお問い合わせ

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/contact/> から、1) 講演会参加の有無 2) 希望時間

3) 連絡のつくお電話番号 4) ご面談内容を記載の上、ご連絡ください。締め切り後、お電話で調整させていただきます。

---

#### 4) メルマガについて

---

■発行 不定期発行です。

#### ■転送など

当メルマガは、グリーンケアがお役に立ちそうな方、そして、グリーンケアに興味がある方へ、転送していただければ嬉しいです。抜粋・転載はご遠慮くださいませ。

#### ■登録・解除

当メルマガは下記よりご登録することができます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mailmag/acc.cgi?id=1564754504144857>

ご登録していただくと、御礼のメールが配信されます。PDF ファイル付きです。

迷惑メールに入ってしまうことがありますので、ご確認ください。

登録時に提供していただいた氏名・住所などの情報は、風と虹の診療所の設立に関し、主に統計をとるために利用させていただきます。

また、下記より解除することもできます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mailmag/acc.cgi?id=1564754504144857&m=d>

#### ■バックナンバー

風と虹の診療所設立準備委員会のHPの「メールマガジン」からご覧いただけます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mail/>

■大切な人を病気で亡くされた方の体験談を募集しています。

ご協力いただける場合は「風と虹の診療所設立準備委員会」のHPにある

「お問い合わせ」からご連絡ください。

(当方で加筆・修正させていただくことがあることを御了承ください)

---

## 5) 風と虹の診療所設立準備委員会について

---

グリーンケア Side by Side 愛称「さばさ」と生きるための死への準備教育 (death education) 生老病死  
愛称「わんまいる」は  
風と虹の診療所設立準備委員会がプロデュースしています。

風と虹の診療所設立準備委員会

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/>

Facebook ページ

<https://www.facebook.com/kazetonijclinic/>